

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

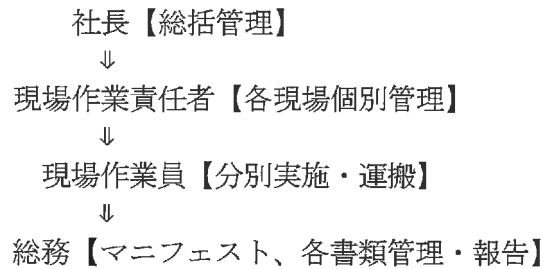
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 7月 2日	
都道府県知事 (市長) 岐阜県知事 殿	
提出者 住 所 岐阜県中津川市苗木48番地 氏 名 株式会社柴田建設 代表取締役 柴田 和彦 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0573-67-2048	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	家屋解体工事 その他複数
事業場の所在地	岐阜県中津川市苗木48番地 その他複数
計画期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E:建設業 07:職別工事業
② 事業の規模	元請完成工事高:73,437千円
③ 従業員数	28名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	—
	排 出 量	2,891.130 t	— t
	（これまでに実施した取組） 解体工事は、その解体物全てが産業廃棄物となってしまう為、発生量自体を抑制することは困難であるが、可能な限り分別解体を行い、リサイクル（再生利用）に努め、処分段階で製品化する等して、最終処分量を抑制している。 又、リユース（再利用）可能な物は生かし取りを行い、抑制している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	—
	排 出 量	2,575.500 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 上記①現状のこれまでに実施した取組を継続。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類（コンクリート、アスファルト）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（瓦、廃石膏ボード）、廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず（畳）に分別しリサイクル処理を行う。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 当社の中間処分施設は選別処理の為、自ら行う再生はありませんが、有価物（金属くず、紙くず等）は売却し再生処理する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 現状と同様		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 当社の中間処分施設は選別処理の為、減量はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 当社外の処理業者の処分施設へ委託し、減量（破碎、圧縮等）する。		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

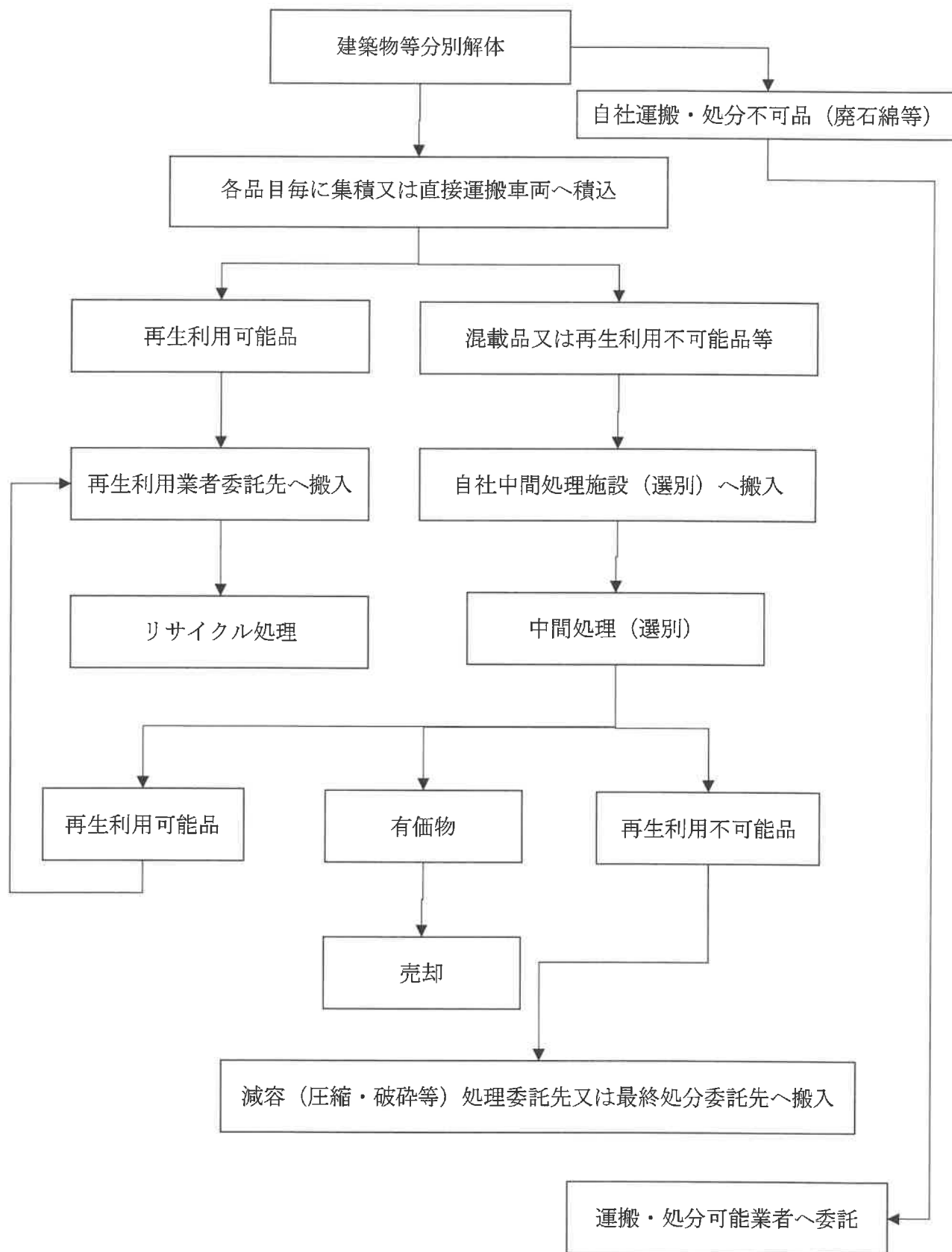
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	—
	全処理委託量	2,891.130 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	2,628.153 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	— t
	(これまでに実施した取組) 直接再生利用委託先へ搬入できなかった廃棄物においても、当社中間処理施設にて中間処理をして、2次処分にて再生利用業者へ委託をしている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	—
	全処理委託量	2, 575. 500 t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.000 t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	2, 223. 000 t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	— t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 上記①現状のこれまでに実施した取組を継続。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程



## 別紙2

## 廃棄物種類明細

前年度(令和5年度)実績

単位:t

品目	排出量 全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量
がれき類	119.544	0.000	0.000
コンクリート、アスファルト	1,909.722	0.000	1,909.722
ガラス・陶磁器くず	217.730	0.000	191.847
廃プラスチック類	82.533	0.000	17.331
金属くず	12.355	0.000	12.355
紙くず	1.584	0.000	0.840
木くず	467.358	0.000	467.358
繊維くず	3.504	0.000	3.504
廃石膏ボード	49.600	0.000	25.196
石綿含有産業廃棄物	27.200	0.000	0.000
合 計	2,891.130	0.000	2,628.153

目標(令和6年度)

単位:t

品目	排出量 全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量
がれき類	110.000	0.000	0.000
コンクリート、アスファルト	1,700.000	0.000	1,700.000
ガラス・陶磁器くず	210.000	0.000	60.000
廃プラスチック類	70.000	0.000	20.000
金属くず	11.000	0.000	10.000
紙くず	1.500	0.000	0.000
木くず	400.000	0.000	400.000
繊維くず	3.000	0.000	3.000
廃石膏ボード	45.000	0.000	30.000
石綿含有産業廃棄物	25.000	0.000	0.000
廃石綿	0.000	0.000	0.000
合 計	2,575.500	0.000	2,223.000